

北海道身体障害者新聞

発行人 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
会長 赤坂 勝
札幌市中央区北2条西7丁目(かてる2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
ホームページ www.hokuisinkyo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円 (会費を含む)
非会員 同 2,000円

平成25年度盲ろう者通訳・介助員養成講座の開催

【一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会(会長赤坂 勝)は、平成25年度の養成講座を札幌の道民活動センタービルにおいて、12月13日から15日までの3日間に亘って、開催しました。】
この講座は北海道からの受託事業(盲ろう者通訳・介助員派遣事業)として実施しており、札幌盲ろう者福祉協会の全面協力を頂き、講座の開催をしております。
今回は52名の応募者の中から全日程の受講と、派遣依頼の場合、平日及び土・日・祝祭日の活動可能な方と、地域性を考慮し、30名を決定し、最終的に28名でスタート致しました。
講座の概略は次の通り。

★12月13日(金)

10時からの開講式は北海道身体障害者福祉協会 常務理事 泉 司より挨拶がありました。
一講目
北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 日置 基樹主任から北海道の現状と派遣事業の詳細について纏々、説明がありました。



開講挨拶の北身協 泉 司常務理事
北海道障がい福祉課 日置主任の講義

午前最後は、札幌盲ろう者福祉協会 富樫 眞弓会長の「盲ろう者福祉概論」で6項目について細かな講義で午前を終りました。



ドアの通過実技



盲ろう者疑似体験セットを着けて

午後の部
13時から「コミュニケーション」の講義が1時間行われ、その後、「盲ろう疑似体験(全盲ろうのケース)」の実技が約3時間30分に亘り行われました。
二人一組でペアを組み、盲ろう者は、耳栓、アイマスク、ヘッドホン、疑似体験セットを着け全盲ろう状態となり、介助員役と室内移動、狭い処の歩行、椅子席を歩き、その後、ドアの通過を体験し、皆さん初めての体験で盲ろう者との関わりに苦労していましたが実技の時間はアットという間に過ぎ受講生は初日からお疲れでした。

★12月14日(土)

一講目 「盲ろう者と点字」
点字や指点字の必要な盲ろう者のため、基本となる点字の講義と携帯用点字器・ブリストラを使い実技指導がありました。
二講目 「盲ろう者と音声」
音声通訳の必要性について、心構えと人口内耳等の講義がありました。



ブリストラ実技

三講目 「盲ろう者と筆記」
筆記通訳の知識と技術についての講義でした。
12時50分からアイマスクを着けての食事実習です。

盲状態、弁当の中身が全く判らない中での食事に戸惑いながらの食事実習で、なかなか箸が進みません。その後、アイマスクをとった受講生の表情は何ともいえない安堵感がいっぱいでした。



アイマスクを着けた食事実習



食事実習の2コマ

午後から「盲ろう者と手話」の講義です。
ろうベースの盲ろう者とのコミュニケーション方法の理解の講義で弱視手話、触手話について学びました。
いよいよ実技です。14時40分から3時間の実技で「階段の昇降」「エレベーター」「ドアの通過」の実技でした。
受講生は肉体的、精神的に前日同様疲れた表情でした。

★12月15日(日)

一講目 「盲ろう者として(体験発表)」
札幌盲ろう者福祉協会の役員で、当事者のお二人から体験発表で受講生は直接、当事者から聞くのは初めての様で真剣な眼差しで聞き入っておりました。
二講目 「コミュニケーション実技」
受講生を4グループに分けて手話・音声・筆記・触手話の実技指導を移動して2時間30分指導を受けました。



白杖を使い移動実技

三講目 「通訳介助の実習」
疑似体験セットを着けた盲ろう者役と、通訳・介助役を組み分けし、レストランでメニューから盲ろう者が食べたい品を選択し、食事、飲物を受付で注文するといふ多くの情報から盲ろう者が自分で判断・選択し、決定するのは盲ろう者自身であるという理解を深める実習でした。
通訳・介助員役は多くの情報を盲ろう者に正確に手書きで伝達し、盲ろう者に決定してもらったことに皆さん悪戦苦闘しておりました。



体験談の松浦さん



コミュニケーション実技

最後に講師、受講生全員で集合写真を撮って3日間の講座・実技を無事終えて、受講生は、安堵感と、これからの通訳・介助員として自信に満ちた笑顔で帰路に着きました。
最後に講師、受講生全員で集合写真を撮って3日間の講座・実技を無事終えて、受講生は、安堵感と、これからの通訳・介助員として自信に満ちた笑顔で帰路に着きました。

四講目「通訳・介助員として」
3日間の講義、実技の中での通訳・介助員の在り方、盲ろう者に対する基本的姿勢と意識の持ち方についてまとめの話がありました。受講生はこの養成講座を通じて今後、通訳・介助員として北身協と札幌協に夫々登録し、自己研鑽し、一人前になるという気概を感じました。
その後、閉講式で、北身協常務理事 泉 司より閉講挨拶、札幌盲ろう者福祉協会 富樫 眞弓会長の激励の言葉があり、その後、受講生28名全員に修了証書が授与されました。
最後に講師、受講生全員で集合写真を撮って3日間の講座・実技を無事終えて、受講生は、安堵感と、これからの通訳・介助員として自信に満ちた笑顔で帰路に着きました。

今回の、講座・実技の講師を全面協力頂いた札幌盲ろう者福祉協会の皆様に、紙面を借りて感謝申し上げます。
有難う御座います。そして、お疲れ様でした。
平成26年は、通訳・介助員現任研修を10月に実施予定です。



講師・受講生全員集合

一般社団法人日本義肢協会会員

<p>株式会社 千葉義肢製作所</p> <p>代表取締役 松田 清勝</p> <p>美唄市東七条北四丁目七番九号 電話(〇一六六)二四一五三三番 FAX(〇一六六)二四一五三三番</p>	<p>株式会社 協和義肢製作所</p> <p>代表取締役 柏崎 力ネ</p> <p>岩見沢市志文町九二三番地二六 電話(〇一五五)二二二二七三番 FAX(〇一五五)二二二二七三番</p>	<p>株式会社 三愛義肢製作所</p> <p>代表取締役 松田 清勝</p> <p>美唄市東七条北四丁目七番九号 電話(〇一六六)二四一五三三番 FAX(〇一六六)二四一五三三番</p>	<p>株式会社 田村義肢製作所</p> <p>代表取締役 松田 清勝</p> <p>札幌市中央区北四条東五丁目 電話(〇一五五)二二二二七三番 FAX(〇一五五)二二二二七三番</p>	<p>株式会社 馬場義肢製作所</p> <p>代表取締役 松田 清勝</p> <p>札幌市中央区北四条東五丁目 電話(〇一五五)二二二二七三番 FAX(〇一五五)二二二二七三番</p>	<p>株式会社 河笠義肢製作所</p> <p>代表取締役 松田 清勝</p> <p>小樽市長橋四丁目七番二十九号 電話(〇一三四)二二二二七三番 FAX(〇一三四)二二二二七三番</p>	<p>株式会社 野坂義肢製作所</p> <p>代表取締役 松田 清勝</p> <p>札幌市中央区南三条東四丁目 電話(〇一六六)二四一五三三番 FAX(〇一六六)二四一五三三番</p>	<p>株式会社 札幌義肢製作所旭川支店</p> <p>代表取締役 関 喬</p> <p>旭川市五条通十二丁目 電話(〇一六六)二四一五三三番 FAX(〇一六六)二四一五三三番</p>
--	--	--	---	---	--	---	--

「ご協力を」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

国の平成26年度障害保健福祉部予算案について

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部より平成26年度障害保健福祉部予算案の概要が提示されました。概要は次の通りです。

★予算額

- 26年度予算案 1兆5,019億円
- 25年度予算案 1兆3,982億円
- (対前年増減 +1,037億円)
- ★障害福祉サービス関係費 (自立支援給付+地域生活支援事業) 26年度予算案 9,534億円
- 25年度予算案 8,689億円
- (対前年増減 +844億円)

★主な施策

- ◆良質な障害福祉サービス等の確保 9,534億円 (+844億円)
- 障害福祉サービス 9,072億円 (+842億円)
- 地域生活支援事業 462億円 (+2億円)
- ◆障害者に対する良質かつ適切な医療の提供 2,217億円 (+31億円)
- ◆障害福祉サービス提供体制の整備 30億円 (▲22億円)
- ◆地域における障害児支援の推進 897億円 (+226億円)
- ◆重度訪問介護などの利用促進に係る市町村支援事業 22億円 (+0億円)
- ◆認知行動療法の普及の推進 1億円 (+0億円)
- ◆自殺対策に取り組み民間団体への支援 1.3億円 (+0.3億円)
- ◆障害福祉サービス事業所などの災害復旧経費(復興) 8億円 (▲1.6億円)
- ◆被災地心のケア支援体制の整備(復興) 18億円 (+1.0億円)
- ※(復興)と記載のあるものは、「東日本大震災特別会計」計上項目

北身協収益事業「北のチャレンジプロジェクト」の活用のお礼

一般社団法人北海道身体障害者福祉協会は、収益事業の一つとして、インターネットにおいて「北のチャレンジプロジェクト」を立ち上げております。シヨップオープン後、多くの皆様の活用して頂き、有難う御座いました。現在、商品を増やし、12アイテムとなっており、年末には、そばやうどんが大変多く売れました。詳細はインターネットで「北身協」と検索して下さい。

平成25年度パソコン教室 登別市での開催について

平成25年度登別市総合福祉センター「しんた21」で11月12日(火)から11月14日(木)の3日間で25名の参加を頂き、大変熱のこもったパソコン教室が開催されました。地元登別協会のご協力に紙面を借りて深謝申し上げます。

★主な実施内容

- ① 登別市主要機関の住所録の作成
- ② 血圧表の作り方及びグラフの添付方法について
- ③ ワードでの年賀状の作成



登別市、パソコン教室

平成25年度パソコン教室 帯広市での実施について

平成25年度 最後のパソコン教室が、11月27日(水)から11月29日(金)の3日間、帯広市のとかちプラザで開催されました。3日間で21名の参加を頂き、和やかで、中身の濃い充実した

教室でした。地元帯広協会のご協力に紙面を借りて深謝申し上げます。

★主な実施内容

- ① エクセルによるハガキの作成(イラストを自由にアレンジする。)
- ② 収支書類の作成(文字列の揃え方計算式の計上方法)
- ③ 住所録の作成方法
- ④ 俳句とイラストの挿入



帯広市、パソコン教室

病気の人も障がいがある人も、難治性疾患の女性、美瑛にペニンシオン開業

「上川管内美瑛町に12月21日ペンシオンがオープンしました。千葉から移住した親子が、『うねうね畑とくもの月』という名前のペンシオンをオープンしました。病気の人も、健康な人も障がいのある人も、誰もが旅の楽しさ、自然の美しさを体験できる宿を目指しています。」

8年前に北海道旅行で美瑛に泊した時、雄大な自然に感動し、雄大な自然、視界を遮るものがなく、自分を包んでくれる大地を感じ住みたいと思ったのがきっかけとなる。黒村桃子さんは母の操さんと二人で土地を借り、借金をして、木造2階建てペンシオンを建てた。

多くの人が使いやすいユニバーサルデザインの工夫が随所に見られ、玄関までの手すり付きスロープ、中には段差がなく、全て引き戸、トイレは車いすで利用可能な広さ、浴室も手動式リフトの設置。自慢は客室の窓、通常より低い位置で大きい。車

いすに乗っていても、ベッドに寝転んだままで丘の風景や夜空の星が見えるようにしている。一帯はすでに銀世界。「ホッ」とできるペンシオンにした「美瑛から発信し、全国にことうした宿をあげたい。全ての人々が、ごく普通に、当たり前前に交じわるようなユニバーサル社会の実現を目指したい。」と夢は大きく広がっております。

盲ろう者通訳・介助員派遣事業の利用登録申請について

あなたのご家族や周りに視覚と聴覚に重複して障がいのある方はいませんか。北海道身体障害者福祉協会では、このような方に対するコミュニケーションや移動等の支援を行う「盲ろう者通訳・介助員派遣事業」を無料でお知らせしております。

是非、盲ろう者の方やご家族に、この事業を紹介して通院や買い物などで利用されるようにお伝え下さい。なお、事前に利用登録が必要となりますので、登録手続き等は、左記へお問合せ下さい。

【問合せ先】
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
札幌市中央区北2条西7丁目
電話 011(251)1551
FAX 011(251)0858
「ご連絡をお待ちしています」
あなたの自立と社会参加のお手伝いを致します。

文芸

松に竹梅を揃えて野のまぐら 幸の夢見る富士に鷹茄子 (松野 幸子)
小鳥鳴く野の山寺桃源郷

カエデやツツジ 浜茄子も咲く 天高く白鳥の姿大橋は 末広がり吉呼ぶ如く (高橋 末吉)

俳句

室蘭市 池内 満里子
忙しく師走の風に追われつつ 釣る瓶落として暮れるはやさよ 賀状書き受けとる人の笑顔など 思い浮かべて言葉をつづる オリオンのはく星を眺めつつ こわしたくないこのうつくしき

室蘭市 池内 満里子
激動をいくつ抜け来し除夜の鐘 船笛の鎮みゆく海年明くる 綿虫の答へなき旅冬ざるる

滝川市 菅原 信子
冬枯れや一色に染まり雪景色 餅つきや愛の手入れてヨイシヨイかな

「文芸に投稿される方へ 編集部からお願い」
一、投稿は、新聞発行月の前月末迄に願います。
二、作品には、短歌・俳句・川柳の区分を記入願います。
三、一般読者が読みにくい漢字には必ずルビを付すように願います

★訂正とお詫び
本紙新年号において、以下の誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。
2面「平成25年度網走地区身体障害者スポーツ大会の開催」本文10行目
誤：北見市ロータリー倶楽部
正：北見西ロータリークラブ

短歌

室蘭市 渡部 忠雄
幸の夢見る富士に鷹茄子 (松野 幸子)
小鳥鳴く野の山寺桃源郷

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店-

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉道町20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282

本拠地 岩崎電子株式会社 札幌市中央区南2条西3丁目東南カド

印刷・クリーニング・縫製のご用命は

北海道リハビリ

障害者支援施設 リハビリ・エイト

障害福祉サービス事業 リハビリ・クリーナース

障害福祉サービス事業 リハビリ・おおぞら

障害者支援施設 札幌ワークセンター

障害福祉サービス事業 セルプさっぽろ

グループホーム・ケアホーム エルフィンホーム

自立援助ホーム 陽だまり

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人本部 北広島市西の里507番地1
TEL(011)375-2111(代)

NISSIN

身体障害者用 自動車運転装置/販売・取付

ニッシン自動車工業 北海道

岩見沢市志文町九二二二二
電話(011)261-3310

HOP

札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階

ホップ障害者地域生活支援センター

TEL(011)748-1631
FAX(011)748-1631

クリーニングは光生舎

光生舎 クリーナース
光生舎 ワグショップ
光生舎 エルムクリーニング
光生舎 ライト・スラザ
光生舎 メディック・エル
光生舎 クリーンセブン
光生舎 スラザインザパロ
光生舎 虹の里
光生舎 虹の里デイサービスセンター
光生舎 フーレビラウ
光生舎 ケアハウス

介護施設 親愛の家
特別養護老人ホーム しらかば荘
多機能事業所 光生舎ゆいま〜るもがほ

○施設の利用を希望される方はお気軽にご相談下さい。

連絡先 (社福)北海道光生舎
電話 0125-32-3221
担当 厚生部

LP

株式会社 ライフパス

札幌市北区篠路一条八丁目六番三〇号
電話(011)772-1471
FAX(011)772-1471

有限会社 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘二丁目八番地八
電話代表(011)261-1550